

かんたんガイド

K8066 PSH-3E0310P-E/M

10/100Mbps PoEスイッチングハブ10ポート(PoE+対応8ポート+ギガビット2ポート) 最大60W給電

特徴

本製品は、8ポートPoE(IEEE802.3af/at)+2ギガビットポートを備えたファンレス設計の高速イーサネットスイッチです。最大60WのPoE給電に対応し、1ポートあたり最大30Wを供給可能。長距離伝送は最大300mまで対応し、監視カメラやネットワーク機器の安定運用を実現します。堅牢な金属筐体と6kVサージ保護機能を搭載し、静音かつ高信頼性を提供します。

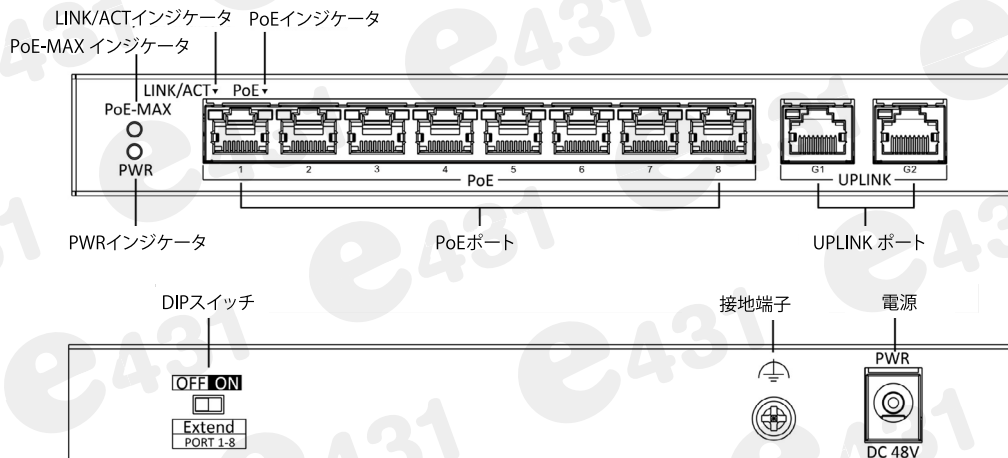
付属品

スイッチ	× 1	電源アダプター	× 1
AC電源コード	× 1	クイックスタートガイド	× 1

⚠ 注意

- 本機の設置および使用に際しては、各国・各地域の電気安全規則を厳守してください。
- 付属の電源アダプターのみを使用し、アダプターを任意に交換しないでください。
電源アダプターの具体的要件は仕様書を参照してください。
- 製品が正常に動作しない場合は、販売店または最寄りのサービスセンターへご連絡ください。
ご自身でカメラを分解しないでください。(無断の修理・保守によって生じた問題につきましては、当社は責任を負いかねます)
- 高温になるおそれのある上部カバー部には触れないでください。
- ケーブル接続、機器の設置・取り外しの作業中は、必ず電源を切ってください。
- インターネットに接続して本機を使用する場合、ネットワークセキュリティ上のリスクが生じる可能性があります。
個人情報およびデータの保護を強化してください。
- すべてのパスワードおよびその他のセキュリティ設定の適切な構成は、設置業者の責任です。
ユーザー名およびパスワードは適切に管理してください。
- 元の梱包材は大切に保管してください。製品が正常に動作しない場合は、
出荷の際にスイッチを元の梱包材で梱包してください。不適切な梱包材による輸送中の損傷について、当社は責任を負いかねます。
- PoEポートから給電される機器については、筐体の保護および難燃性を確保してください。
本スイッチはLPS (Limited Power Source) 規格に適合していません。

外観



ポート/インジケータの説明

インジケータ/ポート	説明
PoE-MAX インジケータ	- 点灯／点滅：スイッチの出力電力が上限に達しています。 さらに多くのデバイスを接続すると、電源異常が発生する可能性があります。 - 消灯：スイッチはPD（受電機器）に正常に電力を供給しています。
PWRインジケータ	- 点灯：スイッチの電源が正常に入っています。 - 消灯：電源が接続されていない、または電源供給に異常があります。
LINK/ACTインジケータ	- 点灯：ポートが接続されています。 - 点滅：ポートがデータを送信しています。 - 消灯：ポートが未接続、または接続に異常があります。
PoE インジケータ	- 点灯：スイッチがPD(受電機器)に正常に電力を供給しています。 - 消灯：スイッチがPD(受電機器)と接続されていない、または電力供給に異常があります。
PoEポート	ネットワークケーブルを介して他のPD デバイス(IP カメラ、AP など)に接続します。
UP LINK ポート	ネットワーク機器(PC、ルーター、他のスイッチなど)を接続します。
接地端子	雷サージや静電気からスイッチを保護するために、接地ケーブルを接続します。
電源端子	付属の電源コードを使用し、AC アダプタの電源端子を接続します。
DIP スイッチ	拡張モード (Extend Mode) をサポート： モデル PSH-3E0310P-E/M の場合、ポート 1～8 が最大 300m の長距離 ネットワーク伝送をサポートします。

インストール

現場環境に応じて、適切なインストール方法を選択してください。

開始する前に

- 部屋を十分に換気してください。
- 装置の周囲に少なくとも 10cm の距離を確保して、放熱を行ってください。

デスクマウント型の設置

デバイスを机の上に置きます。

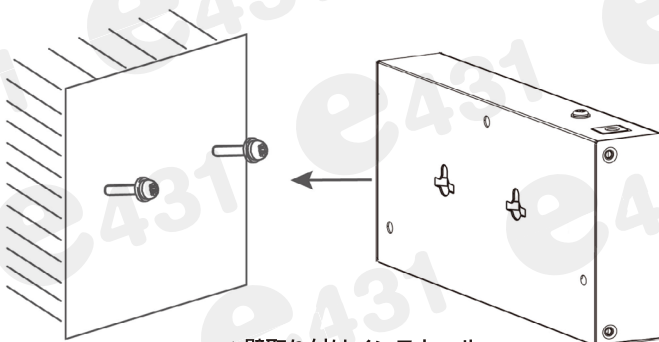
壁掛け設置

手順

- デバイスのリアカバーの 2 つの吊り下げ穴の間の距離を確認してください。
- 壁に 2 つの M4 ネジを挿入します。

2 つの M4 ネジを準備してください。
2 つのネジの間の距離が、2 つの吊り下げ穴の間の距離と等しくなるようにしてください。

- 吊り下げ用の穴をネジと合わせ、装置をネジにかける



▲壁取り付けインストール

接地

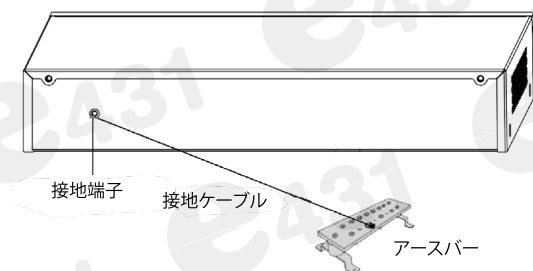
接地ケーブルの接続

アース（接地）は、本機に雷によって誘導された過電圧および過電流を素早く放出し、個人の安全を保護するために使用されます。必要に応じて適切なアース方法を選択してください。

アースバー付き

設置場所にアースバーがある場合は、以下の手順に従ってください。

1. アースケーブルの一端をアースバー上の端子に接続します。

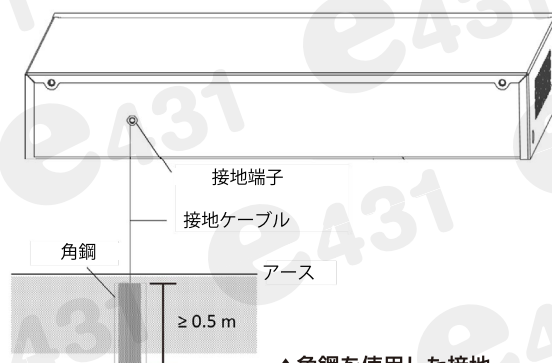


▲アースバーを使用した接地

アースバーなし

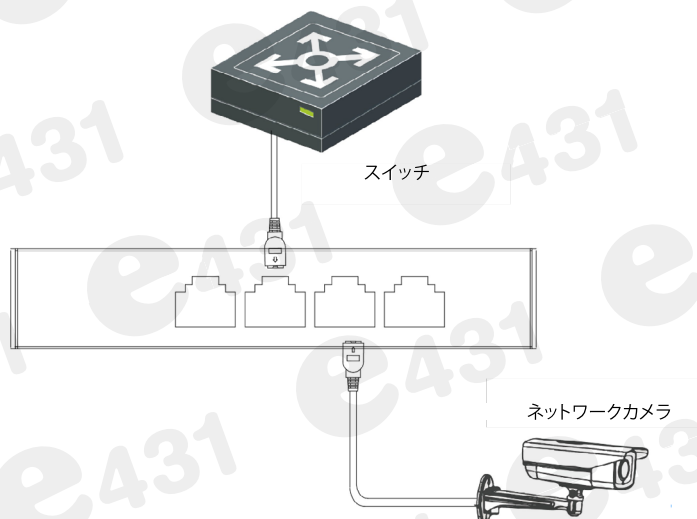
アースバーがなく、接地体を埋設してもよい近隣の大地がある場合は、以下の手順に従ってください。

1. 泥地に角鋼または鋼管（ ≥ 0.5 m）を埋めます。
2. 接地ケーブルの端を角鋼または鋼管にスポット溶接し、電気めっきまたはコーティングにより溶接部を保護してください。



▲角鋼を使用した接地

RJ45ポートの接続



▲RJ45 ポート接続

デバイスの電源投入

- ・ 本機に付属の電源コードを使用して、電源を投入してください。
- ・ 電源を投入する前に次の点を確認してください
 - ・ コンセントの電源は、定格入力基準に準拠しています。
 - ・ 端子のケーブル及び接地ケーブルが正しく接続されています。



PoE 機器間の配線と AC 電源線の配線は、隣接して配線しないでください。
PD 機器やスイッチや端子が焼損する可能性があります。